

小山龍之輔 とよまのりすけ 國文學者。明治十四年京都生れ（一八八一）。第
四高等學校を卒業し、明治四十年東京帝國大學卒。法政大學教授と務め
た。

著書に『日本淨瑠璃史』（大正二年八月）二十頁（赤城正藏刊「アカギ叢
書」）、『源氏物語』（下・大正二年十月）二十四頁（赤城正藏刊「アカ
ギ叢書」）、『通俗淨瑠璃物語』（通俗教育普及會・笹川臨風編、内
題「通俗淨瑠璃名作物語」大正五年十一月十五）『通俗教育普及會「通
俗叢書」』（『新時代の文藝』（和歌俳句の藝術味）（大正十四年十一月八日）『老翁書房』）、小説『太陽鳥の歌』（昭和十七年四月五日）『文
書院』等。

